



"The time is at hand when these journalists themselves have got to stop or get out, and I am ready now to do my share in that work. They are sinning against their souls. If decent people would refuse to look at such newspapers the devil would right itself at once. The present

ジャーナリズム論

第四回 欧米のジャーナリズム史

今日の予定

ジャーナリズム論(4)

- レスポンのコメント概観
- 中間レポート試験に関して
- 欧米のジャーナリズム論
- 西欧のジャーナリズム/ニュースの概史（放送も含む）
- Unescoのジャーナリズム論教育ガイドライン

中間レポートに関して
詳細、来週共有
6/21締め切り予定

評価方法

- 総合評価は東洋大学の成績評価基準に準拠する。
- 出席・参加度・積極性 30 %
- 中間レポート 20%
- 期末レポート 30%
- ~~新聞記事要約定期課題/授業外課題15%~~ → リアペ/リフレクション/授業用簡易ページ、Toyonetaceへのアクセス 15% + 知識獲得度・その他 5% = 20%

評価方法

5ポイント領域で評価（目的でもある）

1. メインポイント（主題、テーマ、論点）が明確に書かれているか
2. （可能な限り）論理的に論じられてるか
3. 授業での内容、配布された資料などの内容が反映されてるか
4. サポート（根拠）が明確にかかかれているか
5. その他（誤字脱字、読みやすさ、表現など。+読んだ時の印象、先生の主観はいっっちゃうけど）

題: ジャーナリズムの定義再考



... (中略)

電子提出ファイル
に、チェックボック
スを貼って✓して機
械的に評価してきま
す。

評価方法（備考）

備考

- 1.自分の考えたことを書いて（先生の視点や考え方は気にしなくていい。実質評価には関係ない。あと「先生の期待しそうな答え方」というのは考えないこと。期待しているのは「とりあえず勉強して、きちんと書いて」ということだけ。できればマトモな大人になって賢く生きて頂戴。勉強ダサイと思ってそうな人もいる感じだけでも。）
- 2.ただし、筋が通るようにすること。= 論理的にまとめる=理由、説明、根拠がある
- 3.本講義（配布資料や自分で調べたこと含む）の内容を反映させること（どんな形でもよいので、反映させる）
- 4.文章の書き方によって印象が変わってしまうので気をつけること（先生が評価する時に主観的な要素が入る部分）
- 5.フィードバック希望の場合はフィードバック希望の旨申し出ること

狙い、目的

1. 「自分の身の回りの問題だけではなく、ジャーナリズムをめぐる問題をいかに捉え、どう個人が行動していくか判断できるようになる。」そのための訓練
2. 「本講義で得た知識を応用し、自ら課題を見つけ主体的に学習を進めていく習慣を身につける」そのための訓練
3. 書く訓練をするため（自由にいきなり対象もない中で自分の考えを書けと言われても書けないことが多い。けれども「ジャーナリズム論に関係したもの」の限定枠内で、自分が考えたことを整理していくと、以外に文章化はしやすい。それを整理するプロセスが書く訓練になる）

狙い、目的

- ・Critical Thinkerになるために → Critical Thinkingする人 → 「クリティカル・シンキング (批判的思考能力)」 する人になるために…

“Ask questions such as ‘How’s this gonna affect me?’ ‘What are the consequences?’ ‘Should I care?’ ‘How important is it (for me, for my family)?’

来週、選択設問を含む詳細を、授業で
口頭および授業webでアナウンスする

学習到達目標

民主政を掲げる社会の中で、ジャーナリズムが果たす役割を理解し、わかりやすく説明できるようになる。
また、ジャーナリズムの基本理念と基礎知識を身につける

ジャーナリズム研究（論）で何が問題となっているか課題を理解する。その上で、社会問題を検証する際に必要な情報や知識を収集し、その情報を活用して、論理的に意見が言えるようになる。

日々の時事ニュースや報道が、自分の考えや視点にいかにして影響をあたえるのか意識できるようになる

自分の身の回りの問題だけではなく、ジャーナリズムをめぐる問題をいかに捉え、どう個人が行動していくか判断できるようになる。

本講義で得た知識を応用し、自ら課題を見つけ主体的に学習を進めていく習慣を身につける。



??????????

統制のお話、商業vs非商業、教条主義

- 新聞社、放送局、インターネットニュース局、財政はどうする？
- 民主主義（あるいは民主制度）を支えるためにニュースは重要とは言うけれど…どんな問題抱えているのかな？
- Where did news media get power from?/ニュース関連企業や報道局の力（権力）はどこから来ているのだろうか？→アメリカの場合はお金です
- 宣伝、プロパガンダ、ニュースの違いは？良いファシズム、良い全体主義ってあると思う？
- 教条主義という言葉調べてニュースについて考えてみよう？
「周りに流されるな」や「常識を疑え」で済む話しかな？

統制のお話、商業vs非商業、教条主義

- レスポンで特定の新聞社がおかしいみたいなこと書いてあったけれど…それって先生が意図したことと関係ないのだな、実は..気持ちは分からんでもない。
- ここで、もう一度自問自答してほしい。ジャーナリズムなるもの、ニュース的なもの、がなくなったらどうなる？
- レスポンでネットのほうが信頼があるようなことが書かれていたけれど？論理的に考えて大丈夫？ネットといっても色々あるじゃない？
- 政治的プロセスや、これからどうするかという政策そのものではなく、政治思想的な部分に目が行きがちな状況はいいとは言えないのは何故か。それに加えて、報道機関は客観報道するべきだ、みたいな表現は実は危ない？
- 戦後、客観報道に囚われすぎた日本の報道機関…市井の人はどう捉えている？嘘ばかりつく？やらせ？でも見る？いやTicTokのほうが面白くね？同時にオジサマ達は、社会を知るために新聞見なさいよと叫ぶ…

余談

- 5月10日、3回目授業リアペに、ネットのほうが信頼性があるといったことが書かれていたけれど…どう意味？それから、このコメントはどう思う？
- じゃあ逆に日本語でオールドメディアって言われてる報道各局や情報発信する企業・組織って信頼性ないの？それはどう思う？どうして信頼性ないって言われてる？
- これも信用できない、あれも信用できない、でもどこで情報手に入れるん？友達？口コミ？先生？専門家？ツイッター？あ、考えるのめんどくさ、人のやることって全部信頼できんってなってしまう

余談

- さあ、ここで再度質問です。ジャーナリズムなる活動って必要？それともいらない？
- 必要と考えるなら、ジャーナリズムあるいはニュースは今後どうあるべき？
- メディア業界に就職したいと考えてる人、あなたはメディアツールを利用して何を伝えたい・したい？単なる憧れ？それとも卑屈なってる一部の市井の人からは意識高い系って言われがちなことしたい？社会貢献したい！（うんまあ、大学の先生として応援するけど、個人的には少しシラケるかもしれない）
- 逆に、日々情報を「消費」する人、何気なく見たいものを見るだけでいい？（気持ちはわかる。実は、タダで見れるような、見たいものも少なくなってるけど。サブスクふえてるし、金ないよ。でも見たい漫画ある。見たい動画がある。したいゲームがある。ニュースはまあ時々見るくらいでいいよ、と思ってるけど。今日の飯何するかな…）
- さあ、ここでもう一度考えよう。ジャーナリズムを何故学ぶ必要があるのか、あるいは考える必要があるのか。なぜ、ニュース機関の信用度が低くなってる状況はまずいのか？この3点を考えよう

欧米のジャーナリズム史

主にアメリカ

余談: 今、欧米を中心に起きていること

- 特定の発言や発信者が目立つようになってきている。それに共感した人達がどんどんフォローする。ニュース業界は信用されないといった言説もこれらが原因の一つと言われてる…
- 分断と言われるけれど、特定の国では分断というより、ポピュリズムムーブメントなるものが起きている→政治家もそういうのに迎合しがちになっている（政治思想は関係ない。なんか共感できるならいいんよ。それで。自分の好みにあったの合わせればいいんじゃない！長いものに巻かれたほうが楽じゃん！→若い人より、中年より上がこの傾向が強い）
- →同時に「もっとフォロワー数を！」 「共感を呼ぶ！」的な事象がどの分野でもおきている。それでビジネスになる。特定の人はそので成功できる。それはニュース機関も同じ…ジャーナリズム的な理想はどっかに消える…
- 客観報道とかいう問題以前に、皆感情的に「共感」できるものだけを、人々は、客観あるいは事実と思うようになってきている状況がチラホラおきている
- ニュース業界、ジャーナリストなどは、これら環境に振り回される状況が生まれてる（同時に、力持つ一定の政治家たちは、自分達の利益のために、この状況を活用または悪用できる状況になっている）

ジャーナリズムの理念、目的
は何といわれていたっけ？

The Element of Journalism

KOVACH & ROSENSTIEL

- **Journalism's first obligation is to the truth**
- **Its first loyalty is to citizens**
- **Its essence is discipline of verification**
- **Its practitioners must maintain an independence from those they cover**
- **It must serve as monitor of power**

The Element of Journalism

KOVACH & ROSENSTIEL

- **It must provide a forum for public criticism and compromise**
- **It must strive to make the significant interesting and relevant**
- **It must present the news in a way that is comprehensive and proportional**
- **Its practitioners have an obligation to exercise their personal conscience (良心、道義心、善悪の観念)**

The Element of Journalism

KOVACH & ROSENSTIEL

- **Citizens have rights and responsibilities when it comes to the news as well - even more so they become producers and editors themselves.**

The Element of Journalism

KOVACH & ROSENSTIEL

- ジャーナリズムの第一の義務は真実を伝えること
- ジャーナリズムは市民に貢献するものであること
- ジャーナリズムの神髄は、情報を検証する上で必要な規律（透明性、謙虚さ、独創性）に従った行動をすること、あるいはその訓練を重ねること
- ジャーナリズムの実務者は、対象とするものからの独立性を維持しなければならない。
- 権力の監視役（monitor of power）としての役割を果たす必要がある

The Element of Journalism

KOVACH & ROSENSTIEL

- **人々 (Public) に、批判するあるいは批判に対して反論および合意できる場を提供する。または、公共的な (public)対話の場を提供すること**
- **意義のあること (意味を見いだせること) を、興味深く、今日的な現実の問題に直結するものとして提示する努力をしなければならない (あるいは、そのように見せる努力をする)**
- **ニュースや時事問題を、わかりやすく概論を提示し、且つ、相対的 (proportional)に提供しなければならない**
- **ジャーナリズムの実践者は、個人として、その良心を行使する義務を負う**

The Element of Journalism

KOVACH & ROSENSTIEL

- **市民（ジャーナリスト、視聴者、読者など）は、ニュースを消費する側としての権利を有し、更にニュースに対しての責任も負う。誰もが、プロデューサーやエディターになればなおさらである**

PURPOSE AND FUNCTIONS OF NEWS

ニュースの目的と機能・特性

Informing (伝える)

Educating (教える)

Guiding (ガイドする)

Entertaining (エンターテインメント)

Interpreting (解釈する)

Forming opinions (参考意見を提示する)

Spreading awareness (気づかせる、自覚させる)

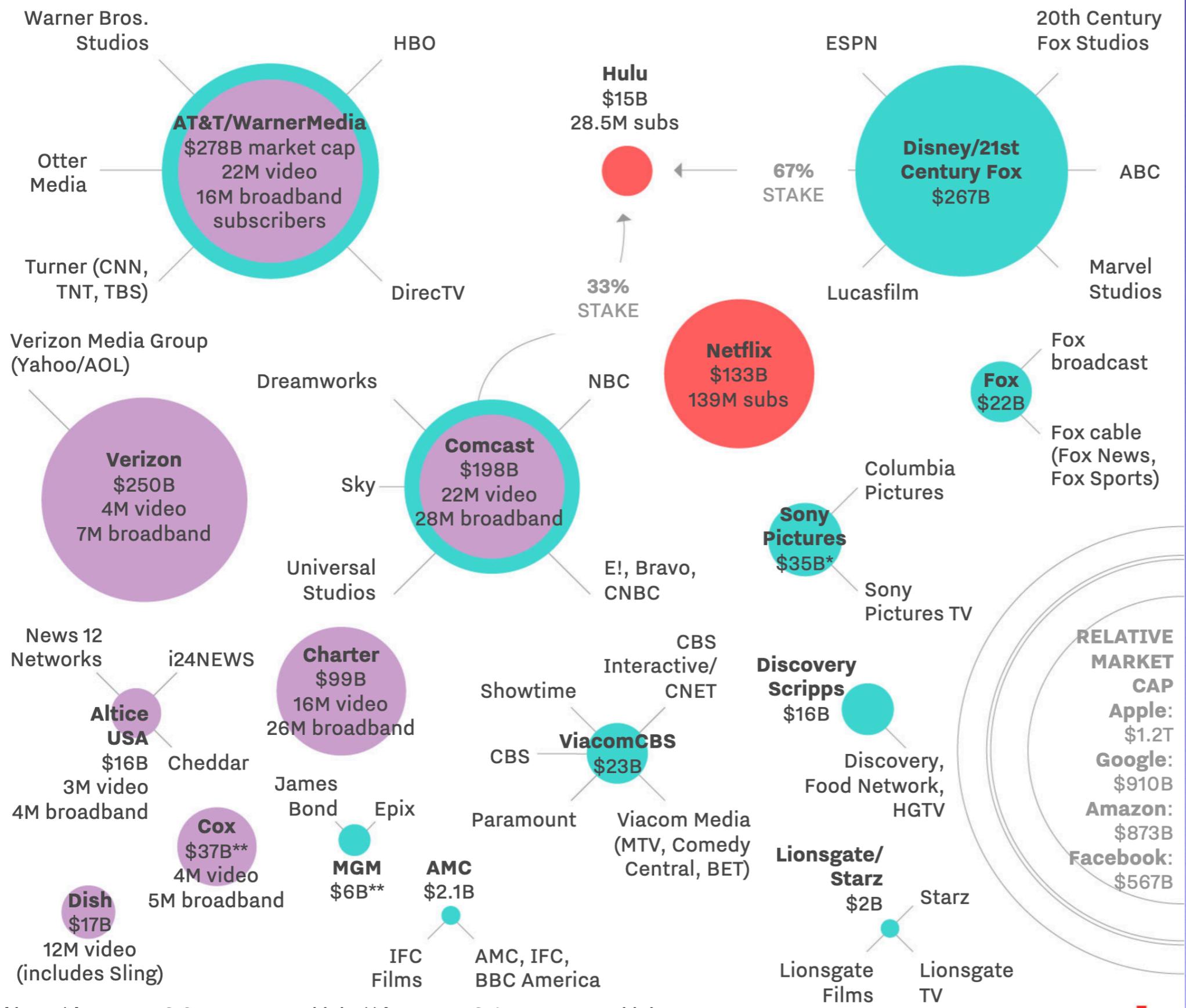
Advertising (宣伝する、広報活動する、PRする)



欧米中心（特に米国） のメディアの現在

Media landscape

■ Distribution
 ■ Content
 ■ Streaming video
 CIRCLES SIZED BY MARKET CAP (as of Dec. 2019)



Source:
[vox.com](http://www.vox.com)
Recode

“Here’s who owns everything in Big Media today. It probably won’t look like this for long.”

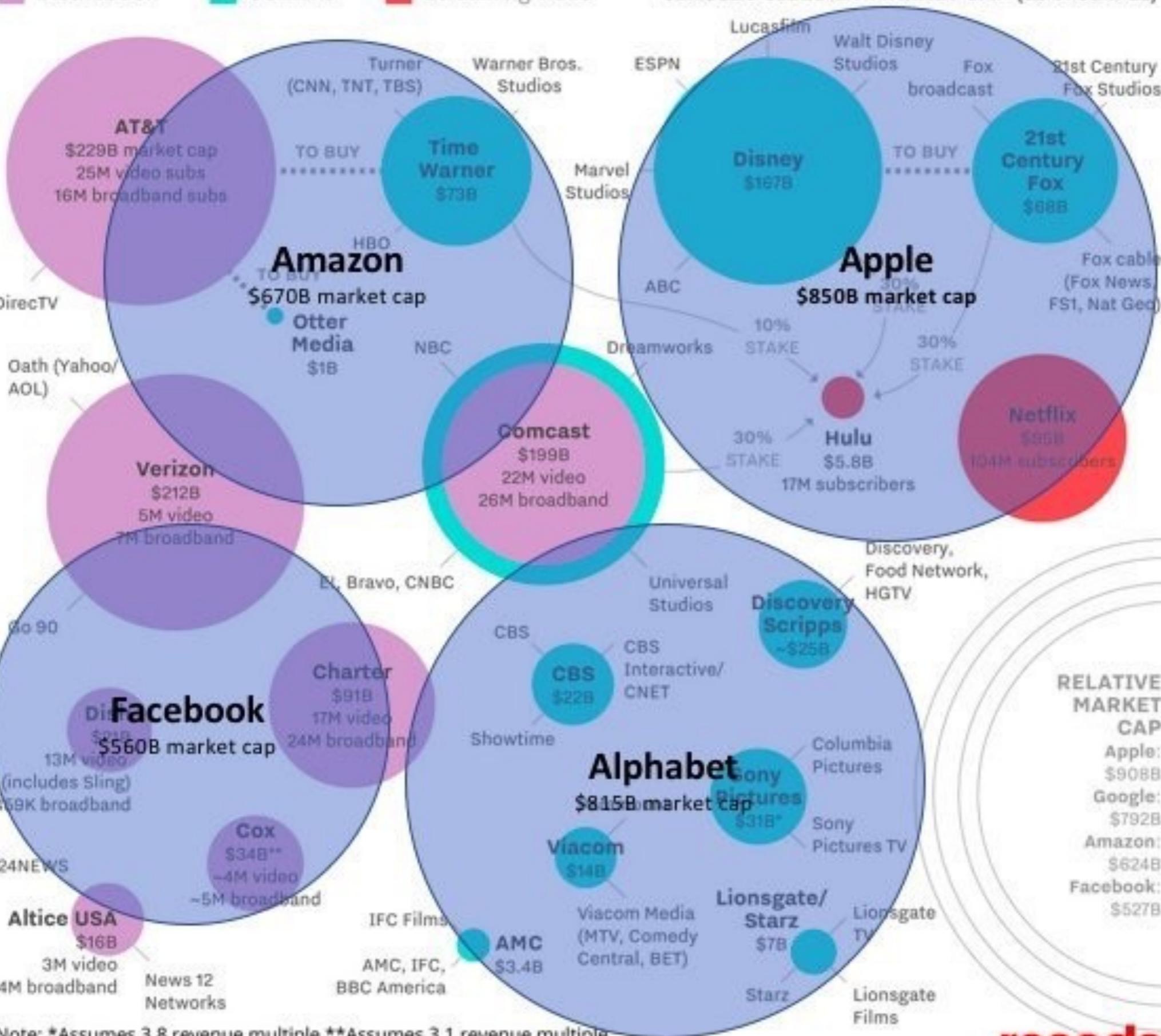
Note: *Assumes 3.8 revenue multiple **Assumes 3.1 revenue multiple
 Source: the companies, news reports, Leichtman Research Group (cable/internet subs)



Media landscape

■ Distribution
 ■ Content
 ■ Streaming video

CIRCLES SIZED BY MARKET CAP (as of Jan. 22)



Source:
vox.com
 Recode

“Here’s who owns everything in Big Media today. It probably won’t look like this for long.”

Note: *Assumes 3.8 revenue multiple **Assumes 3.1 revenue multiple
 Source: the companies, news reports, Leichtman Research Group (cable/internet subs)



余談

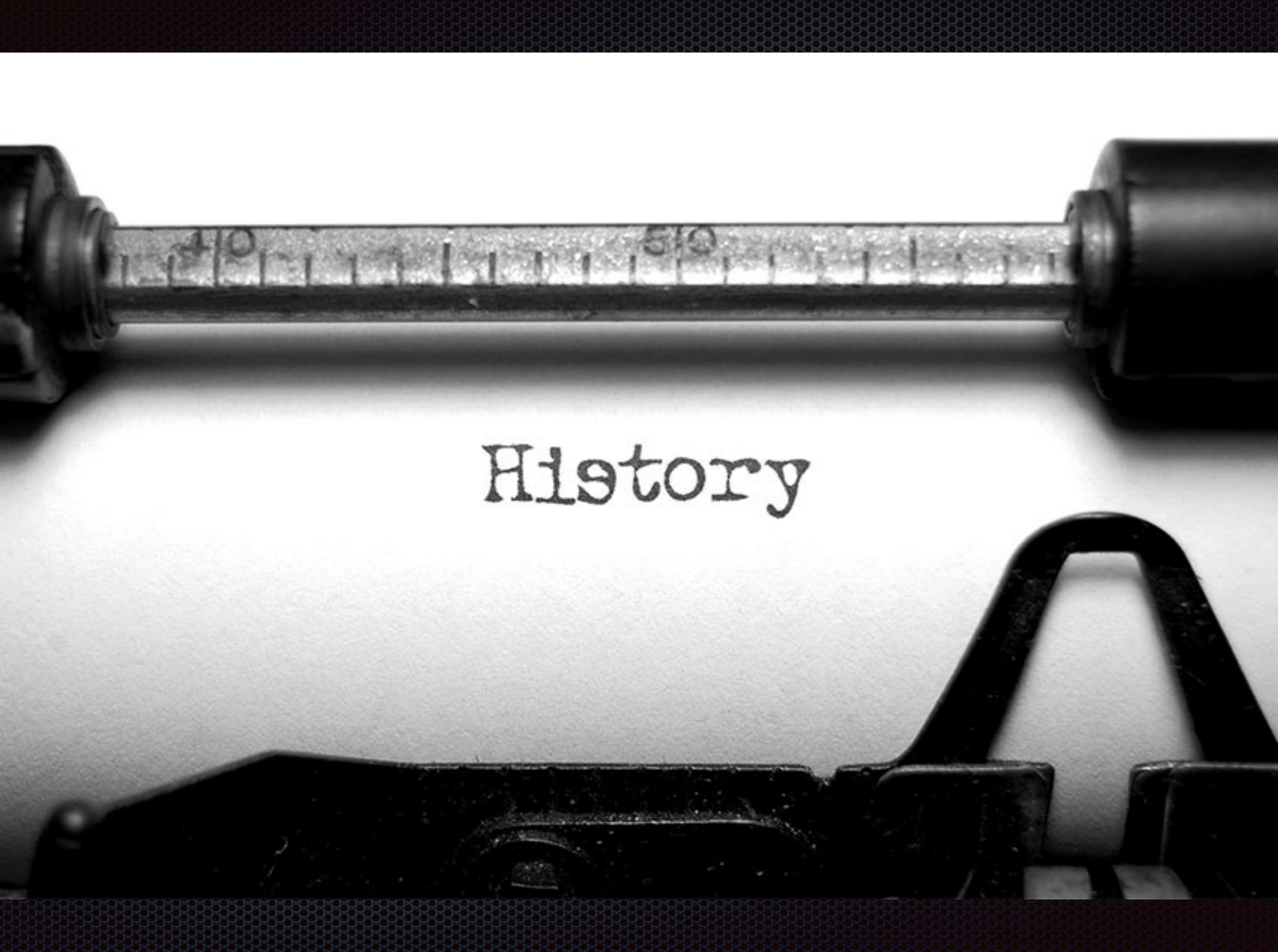
- The Washington Post → Amzon.comが出資
- ニューヨーク・タイムズは中国のCGTN（旧CCTV世界向け）財政支援を受けているとされており、中国に否定的な報道は除外している可能性があるといギリス紙Gurdianに指摘されちゃう
- ハフポスト → 創立者は元々アメリカの政治保守を支持していた人だけでも、そのうち「私は進歩主義ポピュリストの指示を得ている状況かも（売れあげを上げられるから）」と言い始めて、その影響で「リベラル、オンラインサイト」として知られるようになる
- FoxおよびThe Wall Street Journalは保守とされているけれども、キース・ルパート・マードック（Keith Rupert Murdoch）はお金さえ入れればいいという考えの下、Foxニュースを見る対象者に合わせた内容で報道せよ、ということを手張しているといわれている
- 以上、アメリカ等において保守あるいはリベラルとかラベリングされるけれど、そこよりもお金次第でどうにもなるということに注目すべき
- 同時に政治思想のラベルを貼られても、それは外からどう見えるかであって、実際に問題がある報道組織というように批判してしまうのであれば、それはそれで問題

余談

- 放送に関しては、スペイン、オーストラリア、カナダ、中東の国などは国営放送があり、そこでニュースが放送される
- 中国では、国営的な放送があり、一応民間の新聞社、放送局もある
- 日本の歴史で、新聞社などは統制や検閲云々という話しをしたけれども…それを一概に批判することってできると思う？
- 日本の民放や新聞社は一応企業です。アメリカの報道各局は一応ビジネスを行う企業です。それに弊害ってありますか？どんな弊害があるのでしょうか？

誰が出資してるの？何のため？
なんか理想的なことが語られる
ジャーナリズムってどうなるの？

- ・これってどっかで聞いた話だな… 国が、あるいは特定のグループがメディア企業を独占して、情報をコントロールするのは良くないよねとは思っただけ。でも、なんか要らん放送局とか新聞社あるきがするんだけど… (って、そういう人はどういった基準で、要らないとか言ってるのか気になるけど)
- ・ジャーナリズムの理想って、真実を伝えるとか、そんな感じだったよね。でも共感できるものだけが真実って感じで伝えられたら？逆に、送り手として、一生懸命事実や科学的なこと説明しても、共感されなかったら？
- ・これって自由の国を標榜するところで起きている感じよね？



History

新聞の始まり

簡単な歴史の流れ

新聞の起源

- 印刷技術および文字化して印刷物に残す方法は中国からヨーロッパに渡ったとされる（歴史家によってはエジプトまで起源を遡る人もいる）
- 上下下達の情報伝播（例）役人→市民、教会→信者
- ヨハネス・グーテンベルクの活版印刷技術 → 印刷物が配布されるという文化を構築することになった。ルネッサンス、宗教改革、科学革命
- グーテンベルク自身は商業的には成功しなかったが、その後活版技術が普及し、ニュースや書籍の流通速度を速めた

簡単な歴史の流れ

インド・ヨーロッパとアメリカ

- 1665年、イギリス帝国で The Oxford Gazetteが印刷され定期的に配布される
- 1822年ごろ、India Gazetteが発行され、newspaper（新聞）的なものがカルカッタで配布されるようになる。
- 1775年 アメリカが独立宣言したあと、ボストンなどで独立政府による政策に関して論じる、報告書兼ニュースみたいなものが不定期に発行される
- 1835年、ジェームズ・ゴードン・ベネット氏がThe New York Heraldを1セントで販売する。ニュース的なものは6セント
- 15ヶ月で4万部の売上。
- 1838年、ベネット氏はヨーロッパにも社員を配置し、ヨーロッパのことも伝えるようになる

簡単な歴史の流れ

インド・ヨーロッパとアメリカ

- 1665年、イギリス帝国で The Oxford Gazetteが印刷され定期的に配布される
- 1822年ごろ、India Gazetteが発行され、newspaper（新聞）的なものがカルカッタで配布されるようになる。
- 1775年 アメリカが独立宣言したあと、ボストンなどで独立政府による政策に関して論じる、報告書兼ニュースみたいなものが不定期に発行される
- 1835年、ジェームズ・ゴードン・ベネット氏がThe New York Heraldを1セントで販売する。ニュース的なものは6セント
- 15ヶ月で4万部の売上。
- 1838年、ベネット氏はヨーロッパにも社員を配置し、ヨーロッパのことも伝えるようになる

西部制圧、ゴールドラッシュ

ネイティブ・アメリカン迫害

新たに中国系移民、アジア系移民

19世紀

南北戦争 (1861- 1865)

リンカーン大統領暗殺 (1865)

電話の発明(1865)



簡単な歴史の流れ

アメリカ 19世紀

- 南北戦争によって、戦況を伝える重要性が増し、イエロージャーナリズム的なものではなく、硬派なニュースを速報で伝える重要性が高まる
- ニュース（この時代はまだ新聞のみ。後半、電報、電気通信、電話通信）の需要が高まる
- プロフェッショナルに時事問題を伝える人が必要だよね、と言われ始める
- → アメリカで、20世紀初期以降に入ってから、ジャーナリズムを実践する人 = 「ジャーナリスト」を専門的に育成していく必要があるよねとなり、大学や専門学校で専門的な分野として発展し始める/同時に、マスメディア研究も少しずつ専門的な学問として展開し始める

簡単な歴史の流れ

- 電信の発明でニュースの速報性が求められるようになる
- 格安で売られるペニープレスというのが誕生する
- 南北戦争後にニュース（新聞）の価値、需要が高まると同時に、安くて質の高い（この質というのが味噌…幅広く読まれると理解してもいい）
- ウィリアム・ランドルフ・ハースト氏とジョセフ・ピューリツァー氏の新聞王と呼ばれる二人によって、新聞やニュース企業の合併が進み、寡占化が進む→ 商業化進み、発行部数の競争が激化する→ Yellow Journalismが誕生する
- Yellow Journalism → 新聞の発行部数を伸ばすために、綿密な取材や調査するものではない、ゴシップネタやセンセーショナルな記事を書いた新聞やニュース

アメリカで産業革命

スペインとの戦争(1898)

⇒ハワイ、フィリピン、

プエルトリコ

19世紀

電気通信の発明(1835)

電話通信の発明(1876ごろ)

無線電信・電話の発明

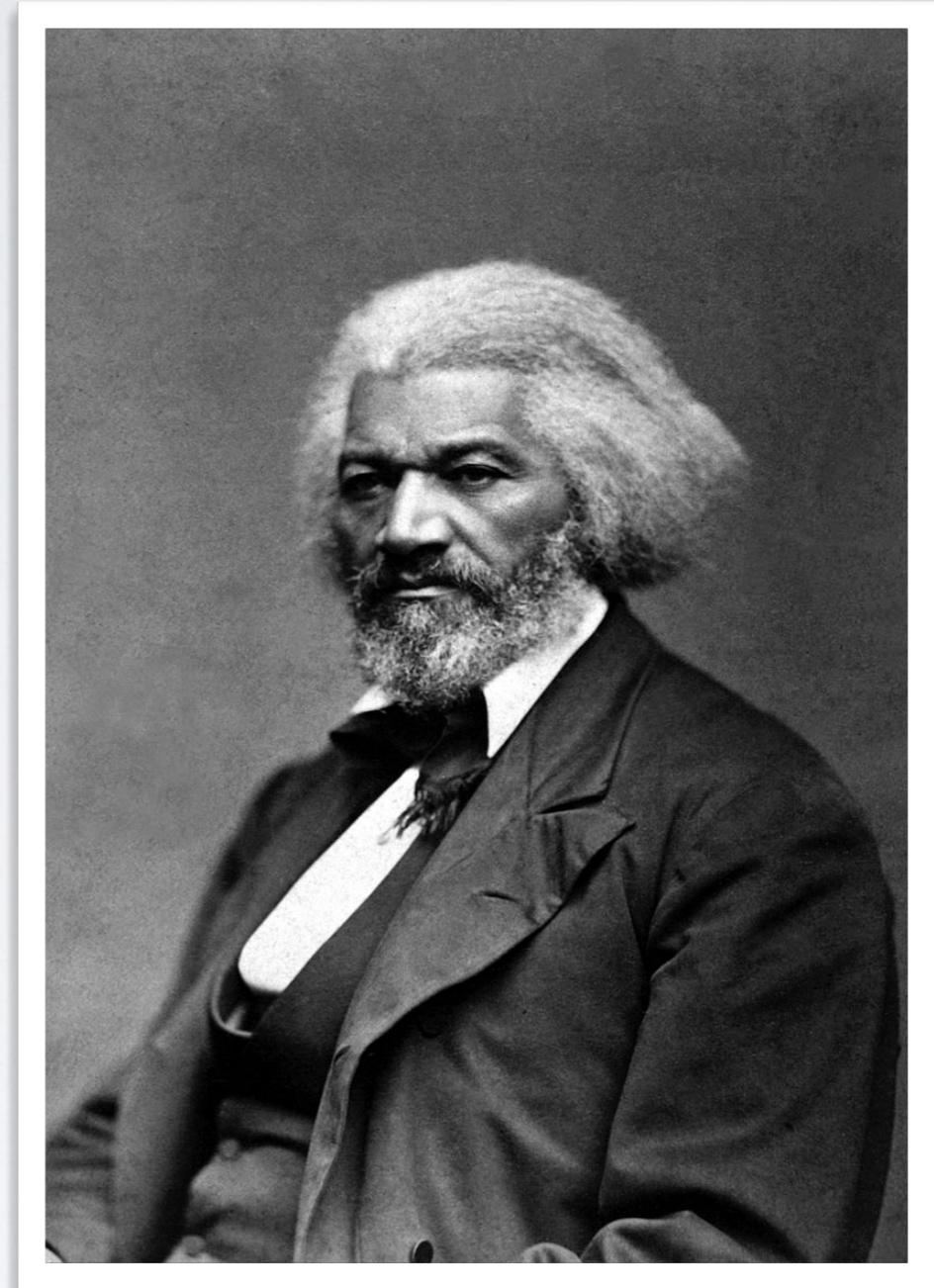


簡単な歴史の流れ

アメリカ 19世紀 ~20世紀初期

- 有線通信、無線通信と技術確信が起こり、情報の伝達速度がUP
- 1対1の双方向コミュニケーションのツールとして見られていなかった、電話、無線機器通信 → 特定多数、不特定多数に情報送信できるじゃん！と気づいた人達がでてくる（放送の始まり）
- コンテンツを充実させるために、ただ音楽を発信したりするところから、教育的な講義を発信したり、新聞の読み上げを始める
- Youtuber的な情報発信から徐々に、大学や宗教団体、デパートなどの商業施設が放送を開始し、宣伝や、ニュース、エンターテインメント番組の原型ができてくる

**FREDERICK
DOUGLASS
1818 - 1895**





DOES NOT A MEETING LIKE THIS, ETC.

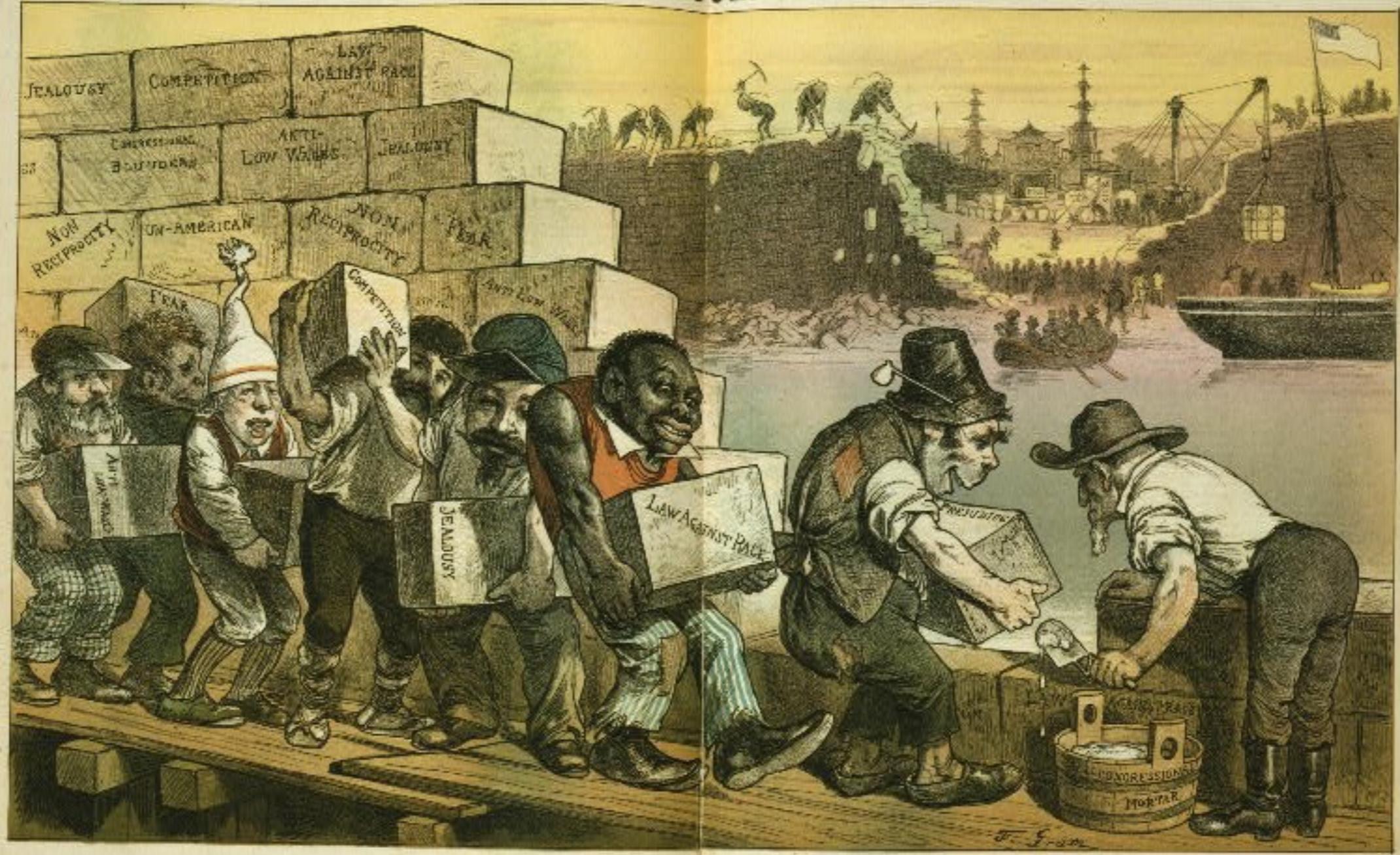
"Hello, Niggy man! Youllee golee West—Melee golee East."

出版日:

**November
22, 1879**

雜誌:

***Harper's
Weekly***



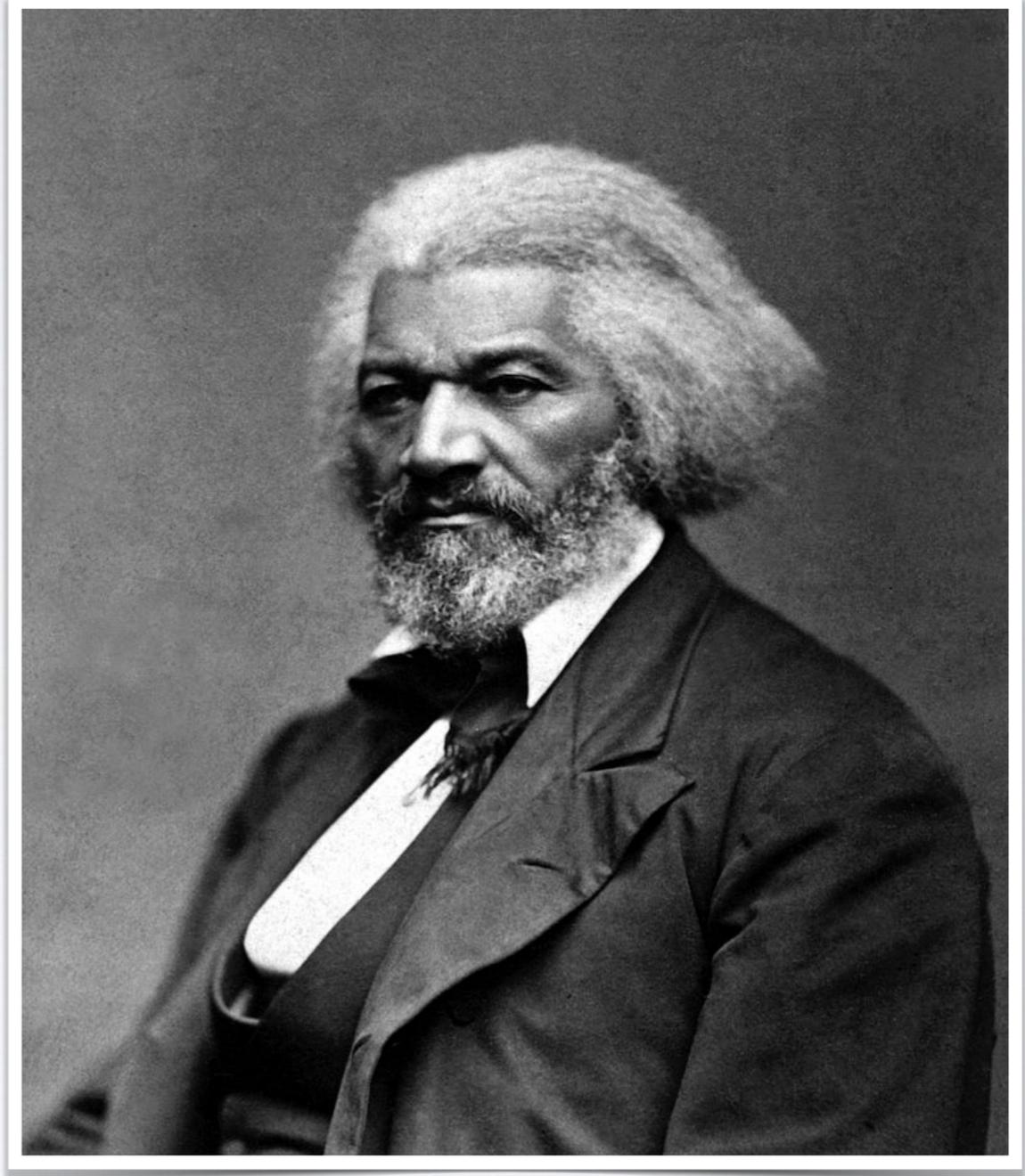
THE ANTI-CHINESE WALL
The American Wall Goes Up at the Utmost Original Gasp Throat.

1882年ごろ: 中国系移民の流入を防ぐための壁をつくらう

出典: Library of Congress:<http://www.loc.gov/pictures/item/96500349/>

奴隷解放運動以外に何したか

- 肖像写真をたくさん撮った人
- 自分で新聞社を立ち上げた



アメリカのメディアの発展と関係してくる点

- **話しが通じない人との対話が容易になる**
- **「無知蒙昧」な人に知識を共有できる**
- **不特定多数の人と話しを共有できる**
- **客観的事実から真実を伝える (?????)**

アメリカのメディアの発展と関係してくる点

- ・ アメリカ合衆国では、近現代的ニュース（新聞）の発展とメディアの技術革新（放送技術）がほぼ短期間で起きた
- ・ ほかの国と比べると、ヨーロッパから独立した新興国だった（あるいは、ヨーロッパの人が勝手に作った国）発展途上国
- ・ 経済発展が急展開ですすみ、情報の伝達が重要な時代とも重なった

放送に関して

新聞と並んで重要なので

アメリカ:USA



アメリカの放送の歴史概要



すばらしい未来?

なんで放送に関して
アメリカ取り上げる？

アメリカを例にあげる理由

英国BBC、日本でNHKなどが開始されるきっかけとなった

- ・米国でアマチュア無線で開始された放送の原型を見た他国の若者や派遣された役人が、アメリカでなんかビジネスにもなり得る凄いことが始まってらしいぞ!そういうのがきっかけで、BBCやNHKの前進となる放送実験が始まった。
- ・アメリカみたいに個人が好き勝手にやってたら、アメリカと似たような問題が、自国でもおきる、それはまずい。政府後援で立ち上げるか、中央集権組織を設立しよう!
- ・↑ 「アメリカと似たような問題」 = アメリカ、沢山の人が、勝手に放送して飽和状態で、限られた電波を使用していて、いろんなチャンネルの混信おきる。それに情報過多だという問題

アメリカ放送史のポイント

- 常に誰が電波をコントロールするのが問題となった。
- The Radio Act of 1927 (1927年無線法)で定義された“公益性, 利便性, 必要性”が、1927年以降、「放送組織のあり方」をめぐる議論を規定してきた。

注＊ 複雑な歴史を簡単にまとめています

アメリカ放送史のポイント

- **社会への影響力のある放送を特定の組織のみがコントロールするのは望ましくないとされた**
- **個人の利益につながり、個人の生活水準や人間性を高めるもの**

注* 複雑な歴史を簡単にまとめています

アメリカ放送史のメインポイント

- ・ 放送は人類の英知共有のためのツールと見られた（活字が読めない人にも情報共有できる）
- ・ 放送でアメリカが一つになると期待された
- ・ 放送は社会を発展させるコミュニケーションツールになると期待された

日本語は「放送」

じゃあ英語の放送にあたる

BROADCASTING

の意味は？

Broadcastingの意味

“act or process of scattering seeds”

– New National Dictionary, 1901

出典:

Erik Barnouw, *A Tower in Babel: A History of Broadcasting in the United States* vol.1(1966)

Broadcastingの意味

元々は農業関連の言葉

「種を撒き散らす」

Broadcastingの意味

“To scatter or disseminate...specific radio messages, speeches, etc”

– New Century Dictionary, 1927

出典:

Erik Barnouw, *A Tower in Babel: A History of Broadcasting in the United States* vol.1(1966)

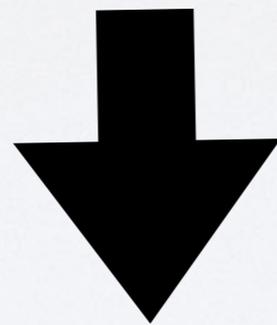
Broadcastingの意味

1927年以降の辞書に「無線などを通して不特定多数の人に情報や知識を共有すること」の意味が載るようになった。

1901年から1927年の間に

種をまくとという意味の

Broadcasting



放送の意に変わる

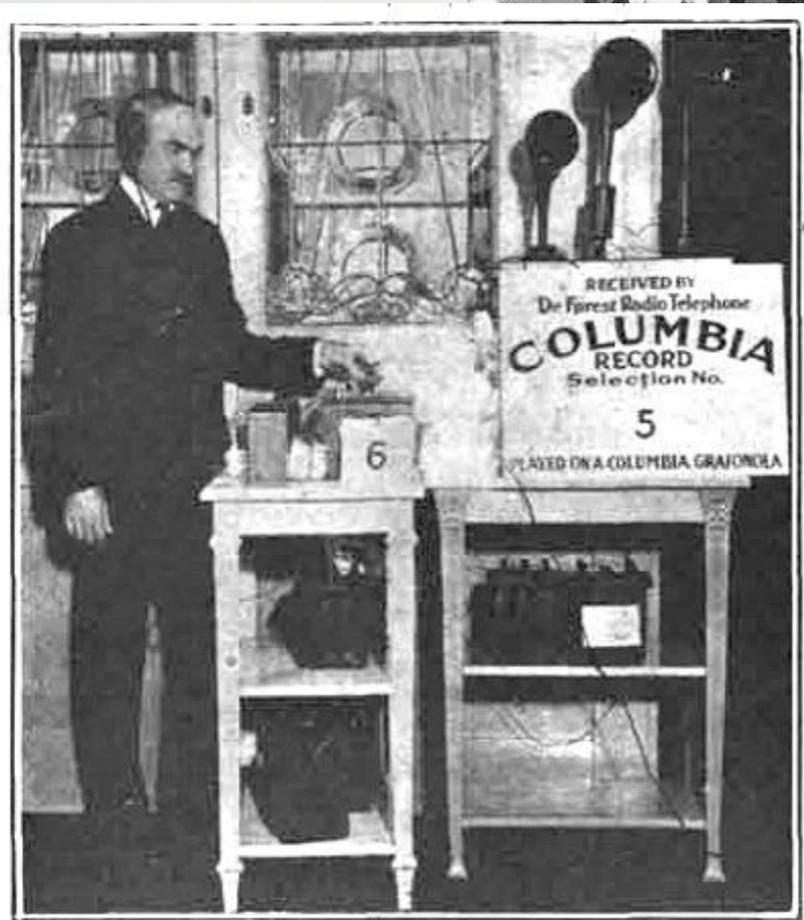
**1901年から1927年の
間に、何か変わった**

電気通信から無線へ

- ・ **モールス信号の発明後、電信産業が発展（1850年ごろ）**
- ・ **電気通信でアメリカが一つになるという期待が生まれる**



1910年ごろ





.....
**1910年～
1925年**

1916年 無線機器のホビー雑誌

1924年 無線機使用中の様子



音楽の配信

沿岸警備隊の通信傍受

1910年～
1925年



誰もが利用できる

「ユニバーサルな
コミュニケーションツール」



1910年～
1925年



誰もが利用できる

Hamムーブメント



1910年～
1925年



上中流階級の人たち

ラジオ通信で、
英語ができない移民が
アメリカ化してくれる

1910年～
1925年



移民や中流階級の人たち

異文化の人とも交流できる
言葉の垣根を越えられる
教育が普及する

1910年～
1925年



移民や中流階級の人たち

「社会とのつながり」

「社会参加の促進」

「メディアで市民が…」

「メディアで新しい社会が」

1910年～
1925年





2018年





.....

2018年

.....

ちよつと詳しく

アメリカでの放送の起源

LAND GRANT UNIVERSITY

1890年～
1920年

認定州立大学での通信実験



LAND GRANT UNIVERSITY

1862年のモリル・ランドグラ
ント法の適用を受けている大学

農学や理工学系を教える大学を設
置することを条件に合衆国連邦政
府から土地を州に付与した法律が
適用された大学

1890年～
1920年



LAND GRANT UNIVERSITY

UNIVERSITY OF 州名

**UNIVERSITY OF
CALIFORNIA**

私立でも MITとコーネル大学

そういった公立大学が
放送実験を開始
行政も助成通して推進

大学の設置の背景とか
どこかで聞く話じゃない？



1890年～
1920年

日本の国立大学

国が推進し国力をあげる
工業・農業・科学中心に

+

日本を西洋においつかせるために
「優秀」な官僚、公人を育成する

話し戻そう

大学の通信実験

1917年, University of
Wisconsinで無線電話を利
用して教育番組放送

1910年～
1925年



アメリカでの放送（ニュースにも関係）

- ・ 最初は誰でも機材さえあれば放送できた**
- ・ 大学が色々な放送実験を行ってきた**
- ・ ラジオ放送では稼げないと思われていたけれど、新聞のように広告費で稼げることに気づいた人達が、商業放送を始める**
- ・ 商業放送でもニュースなどが放送されるようになる**

**“Who is to pay for broadcasting?
And Who is to do broadcasting job?”**

「誰が放送にお金をだし、誰が
放送するか（が問題となる）」

**–David Sarnoff,
The first president of National Broadcasting
Company (NBC) in the U.S.**

Source:

**Looking Ahead: The Papers of David Sarnoff (New York, NY: McGraw-Hill,
1968), 41.**

**質の高い娯楽番組を、あまねく米国全
土に向け福祉サービスとして提供し、
米国社会の発展に貢献すること**

NHKの理念は？



放送は報道じゃなく、広告と娯
楽を中心とするものとされた

Harlod A LaFount, FRC (無線委員会) member

「アメリカの(商業)放送は、私の知る限りでは民主主義国家であるアメリカ合衆国にぴったりな、もっともアメリカらしい放送である。」

**1930年～
1940年**

“I think our system of broadcasting is typically American and that is suits our democratic temperament as no other system I have yet encountered “



.....

2022年

.....

余談

- さあ、ここで再度質問です。ジャーナリズムなる活動って必要？それとも
いららない？
- 必要と考えるなら、ジャーナリズムあるいはニュースは今後どうあるべき？
- メディア業界に就職したいと考えてる人、あなたはメディアツールを利用して何を伝えたい・したい？単なる憧れ？それとも卑屈なってる一部の市井の人からは意識高い系って言われがちなことしたい？社会貢献したい！（うんまあ、大学の先生として応援するけど、個人的には少しシラケるかもしれない）
- 逆に、日々情報を「消費」する人、何気なく見たいものを見るだけでいい？（気持ちはわかる。実は、タダで見れるような、見たいものも少なくなってるけど。サブスクふえてるし、金ないよ。でも見たい漫画ある。見たい動画がある。したいゲームがある。ニュースはまあ時々見るくらいでいいよ、と思ってるけど。今日の飯何するかな…）
- さあ、ここでもう一度考えよう。ジャーナリズムを何故学ぶ必要があるのか、あるいは考える必要があるのか。なぜ、ニュース機関の信用度が低くなってる状況はまずいのか？この3点を考えよう

統制のお話、商業vs非商業、教条主義

- 新聞社、放送局、インターネットニュース局、財政はどうする？
- 民主主義（あるいは民主制度）を支えるためにニュースは重要とは言うけれど…どんな問題抱えているのかな？
- Where did news media get power from?/ニュース関連企業や報道局の力（権力）はどこから来ているのだろうか？→アメリカの場合は、お金です（ただし…社会を維持していくために、お金儲けに走りすぎてもまずいとされ続けた）
- 教条主義という言葉調べてニュースについて考えてみよう？
「周りに流されるな」や「常識を疑え」で済む話しかな？

統制のお話、商業vs非商業、教条主義

- 新聞社、放送局、インターネットニュース局、財政はどうする？
- 民主主義（あるいは民主制度）を支えるためにニュースは重要とは言うけれど…どんな問題抱えているのかな？
- Where did news media get power from?/ニュース関連企業や報道局の力（権力）はどこから来ているのだろうか？→アメリカの場合は、お金です（ただし…社会を維持していくために、お金儲けに走りすぎてもまずいとされ続けた）
- 教条主義という言葉調べてニュースについて考えてみよう？
「周りに流されるな」や「常識を疑え」で済む話しかかな？

来週の予定

ジャーナリズム論(5)

- ・ ジャーナリズムの役割って何？
- ・ ジャーナリズムの役割（理念、あるいは建前）
- ・ ジャーナリズムの役割（ジャーナリストがいうこと）
- ・ ジャーナリズムの役割（識者がいうこと）
- ・ ジャーナリズムの役割（社会学的に言われていること）
- ・ ジャーナリズムの役割（マス・コミュニケーション論）
- ・ ジャーナリズムはどんな役割を担っているか、自分の持論を展開し、クラスで共有する。その上で、Responの質問に答える（時間があれば）